

ふくおかのふくし

Welfare of Fukuoka



今号の内容

- 特集 新たな協働の視点から地域共生社会の推進を目指す... p 1
- 地域ボランティア活動支援 助成団体決定... p 4
- 赤い羽根共同募金... p 7
- キラリ☆地域のふくしびと... p 9
- ふくふくInfo... p 10

九州ブロック地域福祉研究会議の様子
(関連記事1頁)

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。



マスコットキャラクター「くるりん」

第18回 福岡県 ねんりん スポーツ・文化祭

平成30年 **11月23日** (金) 祝
10:00-16:00

日時

会場 **伊都文化会館** 入場無料
(糸島市前原東2-2-7)

楽しいイベントが盛りだくさん!

大ホール

“音楽×スポーツ”
10:00▶11:30
「糸島の中学生の挑戦(仮)」

式典・記念講演
13:00▶15:00

講師 **神田 紅さん** (講師)

演題 「大声と笑いで生きる 明日への活力」

多目的ルーム

三世代交流イベント(スポーツ)
12:30▶15:00

各種イベント

- スポーツ・レクリエーション体験コーナー(輪がいちスポーツ体験コーナー)
- 健康福祉コーナー
- 将棋体験・対局コーナー
- おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクール
- 絵手紙体験コーナー
- スタンプラリー

スタンプを集めて景品をゲットしよう!

交通アクセス

- 電車でお越しの場合 JR筑肥線「筑前原駅」より徒歩 10分
- 車でお越しの場合 西九州自動車道前原インターから 5分

駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



主催 福岡県、福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会 共催 糸島市、糸島市教育委員会

お問い合わせ 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭事務局(福岡県社会福祉協議会)
TEL 092-584-3377 ホームページアドレス <http://www.fuku-shakyo.jp>

ふくおかのふくし 170号 発行所/福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県社会福祉センター(クローバープラザ)内 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 TEL:092(584)3377 FAX:092(584)3369 発行日/2018年(平成30年)10月15日 編集発行人/川口弘毅 印刷所/株式会社 日報

新たな協働の視点から 地域共生社会の推進を目指す

近年、少子高齢・人口減少社会の到来とともに、経済的困窮や社会的孤立等の社会問題が深刻化する中、地域のつながりや絆が見直され、その再構築に向けた取組が求められています。こうした中、国では平成28年6月閣議決定の「ニッポン一億総活躍プラン」において地域共生社会の実現が位置づけられ、さらに平成30年4月に改正社会福祉法が施行されたことにより、地域共生社会の実現に向けた取組が本格化しています。

現行の制度だけでは支援が難しい地域生活課題に向き合い、様々な専門職と地域住民とが共に手を取り地域づくりを進めていくために、今、私たちがやるべきことが何かを考えていく必要があります。

新たな協働とは

福岡県社協では、去る9月6日・7日の両日、九州社会福祉協議会連合会（以下、九社連）及び九社連地域福祉委員会、北九州市社協、福岡市社協との主催により、「平成30年度九州ブロック地域福祉研究会」を開催しました。本研究会は、2年ごとに九州各県で開催されるものです。

福岡県で16年ぶりの開催となった本研究会には九州各県から社協・行政・関係団体等約470名が参加し、「新たな協働による地域福祉のあり方」地域でつながるアイデアと展開をメインテーマに、全体会や分科会を通して、地域福祉の推進について活発な協議が行われました。

【1日目】9月6日

基調報告

「地域福祉の推進と社会福祉協議会の役割」をテーマに、全国社会福祉協議会 地域福祉部長 高橋良太氏に御講演いただきました。

◆社協が目指してきた 「地域福祉」は進んできたか

今日、求められている地域福祉は、今の施策に合わせて言い換える地域共生社会の実現と言えます。この中で謳われている地域における住民主体の課題解決力の強化・包括的な相談支援体制の構築は、各社協が取り組んでいるもの。全社協創設以来、60数年にわたり一貫して方針に掲げてきたものです。そうしたなかで、改めて今後の改革の基本コンセプトに位置付けられたこの「地域共生社会の実現」、社協が役割を担えるかどうか、今問われています。各社協は、これまで取り組んできた地域福祉が本当に進んでいるのか、今一度考えて欲しいと思います。



全社協 高橋良太氏

◆「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた社協の実践課題

地域福祉が施策化したことにより、その担い手は社協に限られなくなり、様々な機関・団体が競争しながら協働することになります。社協が中核となって住民主体の福祉活動の推進、その支援、総合相談・生活支援体制の整備を進めていくために、全社協では平成29年度に「社協・生活支援活動強化方針」（以下、強化方針）を改定しました。

◆「強化方針」の改定と チェックリスト

「強化方針」は、今日の地域における深刻な生活課題や孤立などの地域福祉の課題に応える社協活動の方向性と具体的な事業展開について示したものです。チェックリストによる事業評価・分析を通して、今後の事業展開に活用して欲しいと考えています。

◆社協の事業・組織基盤の 強化に向けて

社協の役割は人々の抱える課題に対応し、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることです。地域生活課題

を把握するしくみ、相談支援体制、生活支援体制という一貫した体制を構築し、身近な圏域から市町村域、そしてそれを越える広域と、重層的な支援体制の中で各社協がポジションを築き、一人ひとりの幸せに貢献できる社協づくりを目指して欲しいと思います。

分科会

◆第1分科会 「市町村における包括的な 支援体制構築のための協働」

包括的な支援体制構築のためには、社協内における部署間の連携や組織の体質改善、専門職・多機関との連携を図ることが必要となります。それぞれの地域の実情や組織体制の状況に応じて、これまでの取組を見直す・発展させるといった視点を持ちながら、地域住民や多職種・多機関と協働して「我が事・丸ごと」の地域づくりを目指していくことの必要性について確認しました。

◆第2分科会

「地域福祉を推進していくパートナーとしての社会福祉法人連携と協働」社協や社会福祉法人には専門職員

◆第3分科会 「地域における 権利擁護のための協働」

がいる、施設やバスなどのハード面の資源がある、仕事を求めている利用者もいるなど、資源の宝庫です。まずは、地域のニーズや課題をキャッチし、社協・社会福祉法人の得意なところを見極めて役割分担を行い、目標を共有して一体感を持って取り組む仕組みづくりが大事であることなどを確認しました。

◆第5分科会 「災害支援における多機関協働」

財源が必要となっています。柔軟な活動を可能とする民間財源を確保するためには、解決したい課題を「見える化」し、共感を得ることが重要です。福祉関係者が使命を果たすために必要となるファンドレイジングの手法や社協で取り組まれている実践事例について共有し、財源確保における協働について確認しました。

子ども、高齢、障害、生活困窮等、災害時は様々な福祉問題が集約する形で表れてきます。これらに対応するには、社協だけではなく、様々な機関・団体が連携・協働することが求められます。

多種多様な被災者の困り事を支援するため、活動分野を超えた協働の形を考えると、災害時を想定し、日頃からの日常的な関わりや取組を、災害時の協働に結びつけることの視点や重要性について共有しました。

【2日目】9月7日 施策の動向



分科会・グループワークでの活発な意見交換

「地域福祉をめぐる制度・施策の動向と今後の期待」をテーマに、厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官 玉置隼人氏に御講演いただきました。

人口減少、人口構造の急速な変化や非正規雇用労働者の増加など、社会情勢が変化中、社会保障制度はその時のニーズに応じて充実してきました。しかし、給付やサービスが充実しても、解決できない住民の課題があ

西部ガス株式会社・一般財団法人福岡県職員互助会・福岡県社協による 地域ボランティア活動支援のための助成事業の助成団体決定!

～県内30団体に総額892万円を助成～

標記3団体は、住民参加型の地域活動を促進し、共に支え合い、共に生きる、安心とゆとりで満ちた、人に優しい社会づくりに資することを目的に、広く社会貢献の心をもって創造的にボランティア活動を実施している団体等に対して、1団体あたり30万円以内(3か年分)の助成を行っています。

今年度は、県内の35団体からの申請に対し、各団体へのヒアリングと、外部有識者等で組織する助成事業審査委員会による厳正な審査の結果、下記30団体への助成を決定しました。

去る8月27日(月)、クローバープラザ(春日市)で開催した交付式では、各団体に対し、決定通知書を交付しました。本助成が福岡県におけるボランティア活動の一層の振興・発展につながることを期待しています。



西部ガス株式会社沼野理事総務広報部長(前列中央左)、一般財団法人福岡県職員互助会竹内常務理事(前列中央)、福岡県社会福祉協議会高橋常務理事(前列中央右)

《 助成決定団体一覧 》

■ 西部ガス株式会社ボランティア助成プログラム(5団体)

団体名	市町村名
1 NPO法人 好きっちゃ北九州	北九州市
2 NPO法人 ANGEL WINGS	北九州市
3 福岡言友会	福岡市

団体名	市町村名
4 インクルーシブふくおか	福岡市
5 大濠公園ガーデニングクラブ	福岡市

■ 一般財団法人福岡県職員互助会ボランティア助成プログラム(10団体)

団体名	市町村名
1 大牟田なつメロ愛好会	大牟田市
2 和太鼓チーム 和	大牟田市
3 八女市働く女性の利用者友の会	八女市
4 おおかわ発達障がいその周辺児の親の会にじいろ	大川市
5 いきいきサロン西小田	筑紫野市

団体名	市町村名
6 むさしヶ丘生活応援隊	筑紫野市
7 向佐野区福祉の会	太宰府市
8 岡垣町保健推進委員会(「楽健会」)	岡垣町
9 ちくぜん虹の会	筑前町
10 ほのぼのカフェ実行委員会	福智町

■ 社会福祉法人福岡県社会福祉協議会ボランティア助成プログラム(15団体)

団体名	市町村名
1 舞・新鮮組	大牟田市
2 ふれあい洲鳳会	大牟田市
3 久留米市ディスコン協会	久留米市
4 特定非営利活動法人こどもネットワーク「CoCo田川」	田川市
5 希みが丘勝負坂公園を守る会	小郡市
6 小郡市ボランティア連絡協議会	小郡市
7 おもやい広場「くまさん文庫」	小郡市
8 おごおり防災士会	小郡市

団体名	市町村名
9 諸田花いっぱい	筑紫野市
10 むさしヶ丘訪問見守り会(ひまわり会)	筑紫野市
11 岡田サポート倶楽部	筑紫野市
12 筒井・錦町まちづくり研究会	大野城市
13 にゃんと地域猫	大野城市
14 直鞍広消会	宮若市
15 キッチン小春ちゃん実行委員会	香春町

【問い合わせ先】

共生社会推進課 ☎ 092(584)3377



厚生労働省 玉置 隼人氏

り、その原因として、制度が分野ごとの「縦割り」であることや支え手と受け手が固定化してしまっていることなどが挙げられます。

複雑・多様化する課題を解決するためには、**包括的な支援体制を構築**することが必要であり、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、**地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現**することが求められています。

地域福祉の担い手が社協に限定されなくなるとはいえ、社協にはこれまでの地道な活動の積み上げがあります。福祉・医療をはじめ、様々な分野の機関・団体とつながり、連携しながら、地域づくりの中核として住民に頼られる社協を目指して欲しいと思います。

記念講演

「ムラとマチをつなげる」地域つながるアイデアと展開」をテーマに、**一般社団法人九州のムラ 代表理事 養父信夫氏**に御講演いただきました。

私の活動の場は皆さんと同様「地域」にあります。主に農村漁村で地域の宝を探し、そこに企業や都市部の方々を招き入れ、地域を元気にしていく活動を企画し、それを国の事業と組み合わせる活動を展開しています。また、「九州のムラ」という情報誌を発行し、情報発信を行ってきました。

地域には、「風土、風景、風習、風俗、風格、風味、風情」といった「7つの風」があります。この観点から、観光地でもない普通の地域、普通の人々、暮らし、そして暮らしが作る風景、技、食文化等を丹念に拾い上げ、その地域の宝(魅力)を引き出し、伝えていくことが必要だと思えます。そこに住み続けている人は見えなくなっているかもしれない。そんな時こそ、「よその風」を入れて、気づいていくことが大事です。

現在、和歌山県由良町の環境・地域



九州のムラ 養父 信夫氏

づくりの支援を行っています。由良町は白崎海岸やみかんの産地で有名です。しかし、高齢化が進み、力作業が必要なみかんの収穫期に人手不足になることが課題になっていました。そこで、現在着任している地域おこし協力隊が考えたのが、都市部の若者を招き入れ、解決する仕組みを作ること。地域おこし協力隊の一人がダンスをやっており、そのネットワークを活かし、由良町でダンス合宿を実施するという企画を立て、都市部の若者を由良町に集めました。若者は収穫期に農家を支援し、その日当を合宿費に当てます。農家は収穫がスムーズになり、若者と交流する中で由良町の魅力を伝えることができます。「よその風」をいれ、Win Winの仕組みを構築した事例です。

人・分野・世代を超えて協働し、柔らかな発想で地域づくりを

一億総活躍社会の実現には地方創生は欠かせない取組です。生活の基盤としての元気な地域社会があることで地域福祉の充実を図ることができ、地域福祉を進めることで生活の質が向上し、それが地域活性化の基となり、地域社会に還元されていきます。

前述の記念講演では、福祉と農業の連携や、企業を巻き込んだ住みよい環境づくりの取組等、これから福祉関係者が意識していく必要がある地方創生のアイデアについて紹介いただきました。

私たちは、福祉だけではなく、商業・サービス業、環境、まちおこし等幅広い領域で協働し、人・分野・世代を超え、社会全体の中で、「人」「モノ」「お金」そして「思い」が循環し、相互に支える・支えられるという関係の構築を目指していかねばなりません。

【問い合わせ先】
地域課
092(584)3377

介護未経験者向け 入門研修を無料で行っています!

本会では、介護未経験者が介護に関する基本的な知識を身につけたり、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶための**入門的研修**を本年度から行っています。(福岡県委託事業)

この研修は、基礎講座と入門講座の2つがあり、**入門講座は基礎講座修了者のみが受講**でき、各講座修了者は**福岡県知事名の修了証明書が発行**されます。また、介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修の**受講科目を一部免除**することができることとなっています。研修の詳細及び申し込みは、**本会HP**(http://www.fuku-shakyo.jp/jigyo/jinzai/Introductory_Training.html)をご確認ください。

こんな方におすすめ! 介護の仕事がしたい方、家族の介護に活かしたい方、ボランティア活動や人の役に立ちたい方

★ 日程・会場等

福岡地区	会場	B日程	C日程	備考
基礎講座 (B日程)	クローバープラザ (春日市原町3-1-7 5階研修室)	基礎・入門講座 (C日程)		※5日間全て受講
平成30年11月3日(土)		平成31年 1月26日(土)、2月2日(土)、2月9日(土)、2月23日(土)、3月2日(土)		
北九州地区	会場	B日程	C日程	備考
基礎講座 (B日程)	ウィズゆくはし (行橋市中津熊501 2階研修室)	基礎・入門講座 (C日程)		※5日間全て受講
平成30年11月4日(日)		平成31年 1月27日(日)、2月3日(日)、2月10日(日)、2月17日(日)、2月24日(日)		
筑後地区	会場	B日程	C日程	備考
基礎講座 (B日程)	大牟田文化会館 (大牟田市不知火町2-10-2 3階研修室)	基礎・入門講座 (C日程)		※5日間全て受講
平成30年11月11日(日)		平成30年 12月2日(日)、12月16日(日)、12月23日(日) 平成31年 1月13日(日)、1月20日(日)		
筑豊地区	会場	B日程	C日程	備考
基礎講座 (B日程)	田川青少年文化ホール (田川市平松3-36 1階研修室)	基礎・入門講座 (C日程)		※5日間全て受講
平成30年11月17日(土)		平成30年 12月8日(土)、12月15日(土)、12月22日(土) 平成31年 1月12日(土)、1月19日(土)		

※基礎研修A日程は終了しました。
※C日程は、受講できない日がある場合は他地区で受講できます。

★ カリキュラム

基礎講座(1日)		基礎・入門講座(5日間)	
12:30~13:00	受付	1日目	
13:00~13:15	開講・オリエンテーション	9:30~10:00	受付
13:15~14:45	介護に関する基礎知識	10:00~10:15	開講・オリエンテーション
14:45~15:00	休憩	10:15~11:45	介護に関する基礎知識
15:00~16:30	介護の基礎	11:45~12:30	屋食・休憩
16:30~16:45	修了手続	12:30~14:00	介護の基礎
		14:00~14:10	修了手続及び休憩
		14:10~15:40	基本的な介護の方法
			2日目
		9:30~10:00	受付
		10:00~11:30	基本的な介護の方法
		11:30~12:15	屋食・休憩
		12:15~16:45	基本的な介護の方法
			3日目
9:30~10:00	受付	9:30~10:00	受付
10:00~12:30	基本的な介護の方法	10:00~12:00	介護における安全確認
12:30~13:15	屋食・休憩	12:00~12:45	屋食・休憩
13:15~15:15	認知症の理解	12:45~14:15	人権学習
		14:15~15:00	修了手続
			4日目
		9:30~10:00	受付
		10:00~12:00	認知症の理解
		12:00~12:45	屋食・休憩
		12:45~14:45	障がいの理解
			5日目
		9:30~10:00	受付
		10:00~12:00	介護における安全確認
		12:00~12:45	屋食・休憩
		12:45~14:15	人権学習
		14:15~15:00	修了手続

平成30年度九州ブロック 民生委員・児童委員関係事業会議

去る平成30年8月30日・31日の2日間、ANAクラウンプラザホテル福岡において、平成30年度九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議を開催しました。

本会議は、誰もが「笑顔で」、「安全に」、「安心して」生活することのできる地域づくりを目指して、九州各県・指定都市民生委員児童委員協議会の代表者等83名が一堂に会し、活動強化のための課題等について共有し、より一層充実した活動を展開することを目的に開催したものです。

基調報告では、全国社会福祉協議会民生部 部長 佐甲学氏から「100周年記念事業と平成30年度全県児連事業の概要」と題し、100周年記念事業の取組や地域福祉をめぐる動向と民生委員・児童委員活動、100周年活動強化方策の推進などについて御講演いただきました。

分科会では、第1・2分科会ともにそれぞれの協議題をもとに、各県・指定都市の取組や課題等について協議を行いました。

◆全国共通協議題 分科会共通

「地域版 活動強化方策」の策定に向けて」

◆選択協議題 第1分科会
「全国児童委員活動強化方策 2017」の推進に向けて」

◆選択協議題 第2分科会

「地域性を踏まえた課題について」
2日目の全体会では「地域版活動強化方策」の策定状況の他、地域の見守り活動、情報共有・個人情報取り扱い、なり手不足、子どもの貧困問題等、各分科会で様々な意見・情報の共有を行ったことが報告されました。

2日間の会議を通して、「地域共生社会」の実現に向けた民生委員・児童委員の役割の重要性を再確認するとともに、複雑多様化する課題解決のためには、多様な関係者との連携が必要であることを改めて確認しました。



全社協 佐甲学氏

中間・遠賀地区社協における 広域防災協定が締結されました

去る平成30年8月18日、中間・遠賀地区社会福祉協議会連絡会(中間市・芦屋町・水巻町・岡垣町・遠賀町)では、「広域防災協定調印式」が開催され、「中間・遠賀地区社会福祉協議会連絡協議会災害時相互支援協定」が本会を含んだ形で締結されました。また、同時に「中間・遠賀社会福祉協議会連絡会とひびき青年会議所の相互協力協定」も締結されました。

各協定は、被災した場合に相互が効率的・効果的な支援活動を行うために締結されたもので、近隣社協の協定締結は県内7例目、社協と青年会議所(以下、JC)の協定締結は県内19例目になります。

また、調印式では、具体的な相互支援のあり方を考えるため、2部にわたり講演が行われました。

第1部では、遠賀川河川事務所防災情報課から、過去に起きた水害を振り返り、実際に遠賀川が氾濫した場合、どのような事態になりうるのかについて共有するとともに、正しい情報収集の必要性等について説明がありました。また、第2部では、朝倉JCから、昨年の九州北部豪雨の被災時に、社協と

JCが具体的にどのように連携し被災地支援を行ったのかについて報告があり、多職種が連携した支援の重要性や管内が被災した場合の連携体制のあり方について考える機会となりました。県社協としても、災害支援における連携を一層強化し、災害発生時には相互に連携・協働した効率的・効果的な支援が展開できるよう、体制整備に努めてまいります。



問い合わせ先
地域課
☎092(584)3377

10月1日から「共同募金運動(72回目)」がスタート

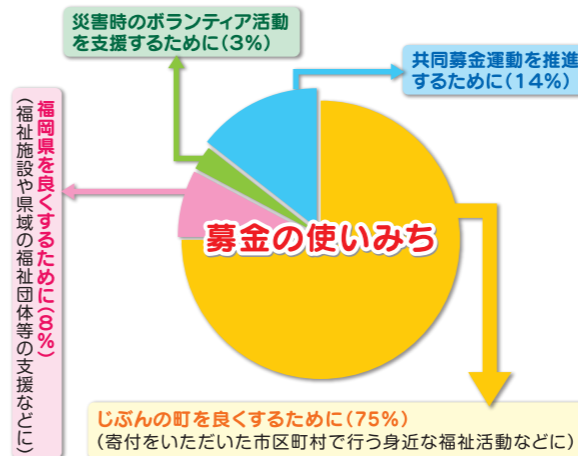
平成30年度 赤い羽根キャッチフレーズ (最優秀作品)

「赤い羽根 幸せつくるあいらじび」 …赤い羽根共同募金



●共同募金運動開始

共同募金運動は、民間の福祉活動を支援するため、住民主体の自主的な活動として、昭和22年に全国一斉に始まり、今年で72回目を迎えました。皆様からの募金は、その約75%が集



められた地域(市区町村)に還元され、様々な福祉課題の解決を目指して実施される福祉活動に活用しており、高齢者の見守り・訪問事業や「子育て支援事業」、「障害者の自立支援」などの地域で行われる福祉活動だけでなく、「福祉施設の施設整備」等の県域の福祉活動の支援、「大規模災害時のボランティア活動の支援」など、幅広く活用しています。

なお、共同募金の使いみちについては、「赤い羽根データベース」はねっと」(中央共同募金会ホームページ)ですべて公開しています。

共同募金会では、毎年、民間の社会福祉活動を行う団体などからの申請をもとに配分計画を立て、その計画に基づく事業を実施するために必要な額を「目標額」として掲げ、募金活動を行っています。

しかし、共同募金運動を取り巻く環境は依然厳しく、本県の募金実績は全国同様、ピーク時の7割以下まで減少しています。

●理解や共感を高めるために

本県では、このような共同募金についての理解、共感を高めるとともに、自分たちも地域の一員であるという意識を持つてもらえるよう、毎年、県内の小中高生を対象に「赤い羽根キャッチフレーズ」を募集しています。

今年は5383点の応募をいただき、その中から、糸島市立志摩中学校一年の松尾駿太郎(しゅんたろう)さんの作品を最優秀作品に決定し、今年のポスターやチラシ等に掲載し、共同募金運動の広報・啓発に活用しています。



今年の街頭募金の様子

●赤い羽根応援大使

県共同募金会では、共同募金運動をこれまで以上にアピールし、応援いただく方々を増やすため、福岡県民に絶大な人気を誇る福岡ソフトバンクホークス球団の全面的なご支援のもと、上林誠知選手と石川柊太選手に「赤い羽根応援大使」に就任いただきました。

今後は、本県における共同募金運動の「顔」となって、広報啓発等にご協力いただきます。

●委嘱状交付式と発表会

去る8月29日(水)、福岡ヤフオクドームで、応援大使の委嘱状交付式とキャッチフレーズ等の発表会を行いました。

発表会には、最優秀賞の松尾駿太郎さんと赤い羽根応援大使の上林選手・石川選手にご参加いただきました。

松尾さんからは「多くの人に募金を知ってほしくてシンプルなものにした。募金でたくさんの方が幸せになってほしい。」とキャッチフレーズに込めた想いを話していただきました。



左から上林選手、高橋常務理事、松尾さん、石川選手

《共同募金運動の取組期間》

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般募金						
歳末たすけあい募金						
テーマ型募金						

- ◆一般募金 … 地域の幅広い福祉活動のための募金
 - ◆歳末募金 … 新たな年を迎える時期の福祉活動や生活困窮者などを支える募金
 - ◆テーマ型募金 … 地域や社会の緊急的な課題を解決する募金
- ※福岡県では、テーマ型募金は福岡県共同募金会のみで実施

上林選手からは「支援を必要とされている人も多い。募金へのご協力をよろしく願います。」また石川選手からは「なかなか募金をしたことがなく、こういう機会に存在を知れた。困っている方を支援できるようにアピールしたい。」と、メッセージをいただきました。

本県地域福祉の更なる推進を目指し、10月1日から始まった共同募金運動に取り組んでおりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をよろしく願います。

※この発表会の様子は本会ホームページを通じて福岡ソフトバンクホークスオフィシャルユーザーでご覧いただけます。

共同募金会限定グッズのご紹介

500円以上の寄付で…

ハリーホーク コラボバッジ
今年の鷹の祭典のユニフォームを着用したオリジナルバッジです。 ※数量限定

なめらかな書き味が人気
オリジナルボールペン
(ジェットストリーム)

1,000円以上の寄付で…

赤い羽根共同募金
愛ちゃんとお楽しみ

赤い羽根共同募金
あいらじび

クオカード・図書カード
500円分の金券として使用できます。 ※数量限定

福岡県共同募金会では、福岡ソフトバンクホークスからのご協力をいただいたコラボバッジをはじめ、限定グッズを作成しています。お申込みのうえ一定額以上の寄付をいただいた方に、寄付のお礼としてお渡ししています。

※本会ホームページからお申込みいただけます。
<http://www.fuku-shakyo.jp/kyobo/index.html>

平成30年7月福岡県豪雨災害義援金募集期間延長のお知らせ

平成30年7月5日からの大雨により、県内各地で人的被害や家屋の全壊・半壊、多数の床上・床下浸水等の深刻な被害が発生し、特に飯塚市と久留米市には災害救助法が適用されました。本会では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行っておりますが、受付期間を平成30年12月28日まで延長いたしました。本会が取りまとめた義援金については、福岡県が設置する義援金配分委員会を通じて、全額被災者に配分されます。また、右記以外にも、今年度は西日本豪雨や北海道胆振東部地震など大規模災害が全国各地で発生し、各道府県共同募金会でそれぞれ災害義援金を募集しています。

詳細については、本会ホームページをご参照ください。

福岡県共同募金会
問い合わせ先
☎092(584)3388

ふくふくInfo

福祉分野への求職者482名が参加! ～福祉のしごと就職フェア2018 in FUKUOKA～



去る8月4日(土)に、クローバープラザ(春日市)で、九州最大規模となる「福祉のしごと就職フェア2018 in FUKUOKA」を開催しました。

今回のフェアは、169の法人・事業所から3,170名分の求人があり、昨年8月の同フェアに比べ321名分の求人増加でした。

求職者は、参加法人の求人情報を掲載した冊子を片手に、自分の希望する職種や分野の求人ブースを積極的に回り、各施設・事業所の職員から具体的な仕事内容や求人内容・待遇面などの詳しい説明を聞くだけでなく、就職することへの不安や悩み等質問するなど、会場のあちこちで就職活動に励む姿が見られました。

また、求人側も、自分たちの施設・事業所の魅力や特徴、就職してからのキャリアアップ事例等を余すことなく伝えるため、ブース内のレイアウトや配布チラシ等、工夫を凝らしたPR活動を積極的に行っていたのが印象的でした。

参加法人からは、「福祉の仕事はさまざまな職種の職員や関係者がチームを組んで、利用者の気持ちや立場に沿った支援と一緒に考え、利用者を支えています。そこで得られる大きな達成感、この仕事の醍醐味であり、やりがいでもあります。多くの人に福祉の仕事について知ってもらい、安心して就職していただけるように職場環境や給与等をサポートしていきたいです。」という声が聞かれました。

本会では、年2回行う福祉のしごと就職フェア以外に、県内4地区(北九州・筑後・筑豊・京築)で開催する「福祉の職場ホリディガイド」も行っています。

今後の予定は、以下のとおりです。みなさまのご参加お待ちしております。

10月28日(日)12時から15時 ウィズゆくはし(行橋市)
11月27日(火)13時から16時 ウェルとばた(戸畑区)

【問い合わせ先】

人材・情報課 ☎ 092(584)3310

サービス水準の向上を目指して、第三者評価の活用を!

平成30年3月から平成30年8月の間に結果を公表した社会福祉施設・事業所は次のとおりです。

社会的養護関係施設第三者評価 13件

【児童養護施設】聖小崎ホーム(北九州市八幡東区)、若葉荘(糟屋郡久山町)、久留米天使園(久留米市)、福岡育児院(福岡市東区)、暁の鐘学園(北九州市若松区)、ひばりが丘学園(朝倉市)、古処学園(朝倉市)【児童自立支援施設】福岡学園(那珂川市)【母子生活支援施設】サン・フラワー京築、真愛園光寮、北九州市立小倉母子寮、ひまわり園【乳児院】鞍手乳児院(鞍手郡鞍手町)

社会的養護関係施設第三者評価の評価結果は、下記のHPで確認できます。

- ・全国社会福祉協議会(全国推進組織)HP <http://www.shakyo-hyouka.net/>
- ・福岡県福祉サービス第三者評価推進機構HP <http://www.fuku-shakyo.jp/hyoka/top.html>

福祉サービス第三者評価 6件

【保育所等】西戸崎保育園(福岡市東区)、香椎保育所(福岡市東区)、アスク竹下保育園(福岡市博多区)、アスク東比恵保育園(福岡市東区)、善導寺保育園(久留米市)【特別養護老人ホーム】むさし苑(筑紫野市)

高齢者・障がい者・児童など各福祉サービス(社会的養護関係施設を除く)の第三者評価受審は、義務ではなく自発的に取り組むことに意義があります。利用者の皆様に安心して質の高い福祉サービスを利用いただくために、積極的な受審をお願いいたします。

福岡県福祉サービス第三者評価の評価結果は、下記のHPで確認できます。

- ・福岡県福祉サービス第三者評価推進機構HP <http://www.fuku-shakyo.jp/hyoka/top.html>

●受審の申込みについては、下記評価機関へ直接お問い合わせください。

- ・公益社団法人福岡県社会福祉士会 TEL (092)483-2944
- ・特定非営利活動法人医療・福祉ネットワークせいわ TEL 0952(41)6522
- ・特定非営利活動法人北九州シーダブル協会 TEL 093(582)0294
- ・公益社団法人福岡県介護福祉士会 TEL 092(474)7015

【問い合わせ先】

評価推進課(福岡県福祉サービス第三者評価推進機構事務局)

☎ 092(584)3610

シリーズ キラリ★地域の ふくしびと

Vol.12

このコーナーでは、福岡県内でふくしの仕事に携わる人の声を紹介していきます。今年度は、「ふくおかライフレスキュー事業(※)」参加法人の職員にインタビューを行います。

ふくしの仕事を始めたきっかけは?

母が障害者支援施設を運営していたため、福祉というものが生活、自分の人生の中に自然とありました。

母がいつも生き活きと仕事や利用者さんと向き合う姿を見て、そんな魅力的な福祉の世界とはどんなものだろう?という気持ちで飛び込んでみたのがきっかけです。

現在は、東青葉保育園の園長を務めています。園の立ち上げ当初は、私も職員も子どもたちも何もかもが初めてのことばかりで戸惑うこともありましたが、基本理念に基づきみんなで何度も話し合って保育の行動指針を作り上げ、今では職員全員が同じ目標を持って業務に携わっています。



保育園職員(ふくおかライフレスキュー事業 サポーター)と一緒に!

ふくおかライフレスキュー事業の活動への思い

子どもたちを育むうえで、子ども本人だけでなく、保護者や家庭に寄り添った支援を行うことは、保育園の役割のひとつだと思っております。日常的な業務としてライフレスキュー事業に取り組んでいる感覚です。何らかの困りごとを抱えている家庭に対して、保育園としてどこまで介入していいのか?と悩むこともありますが、区役所等と適切な連携を取りつ

つ、スムーズな支援に繋がるように心がけています。
また、これから保育園で「おじいちゃんおばあちゃん食堂」を始められるように計画中です。一人暮らしの高齢者の方に来ていただいて、子どもたちと一緒に笑顔で食卓を囲める場をつくってきたいです。

どんな「ふくつごう」になりたいですか?

「感謝・思いやり・愛・素直」。私がいつも大切にしたいと思っているキーワードです。感謝を言葉と態度で伝えること、相手の立場で物事を考えること、自分と人を大切にする事、これらを素直な気持ちで実践することです。子どもや保護者、職員と関わる際には、相手にも素直な気持ちを話してほしいので、まずは自分が考えていることや喜怒哀楽を素直に言葉にして伝えるようにしています。

福祉の仕事は決して一人ではできないけど、一人の力が集まってこそ輝くものだと思います。私自身が、関わった人を幸せにできるような魅力的なふくしびとになれるよう、これからも心身ともに健康で、毎日を楽しみながら頑張ります!

まずは自分が素直でいることを大切に



渡 真樹 さん

わたり まき
事業所名: 社会福祉法人 若宮福祉会
東青葉保育園
担当: 園長

福岡市(東区)の概要
福岡市の行政区のなかで最多人口。志賀島や香椎宮、箱崎宮など多くの歴史的資源がある。
人口: 314,134人、高齢化率: 22.2% (平成30年4月1日現在)

※ふくおかライフレスキュー事業では、福岡県社会福祉法人経営者協議会を中心に、複数法人の連携によって生計困難者等に対する相談支援事業を行っています。